



# 宗岡二中だより 1月号



平成31年1月8日（火）

志木市下宗岡 4-1-10 ☎048-472-1516

自ら学び考える生徒

学校教育目標：心豊かな優しい生徒

明るく元気な生徒

**「才能ある人」は、「努力する人」にはかなわない。  
「努力する人」は、「楽しみとすること」にはかなわない。**

**校長 滝沢 慎**

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

さて、発明王のエジソンは「人間は1%の才能と99%の努力だ」と言いました。「才能ある人」は、スタートは他の人よりリードしているでしょう。しかし、その先は、必ずしも、そのままではありません。その人が、今持っている力だけで勝負していくと、自ずと限界があります。

「努力する人」はどうでしょうか。コツコツと積み上げた努力は、最初は見えづらいものですが、蓄積され、ある時、突然、力となって発揮され始めます。

努力の結果はすぐに出ませんので、あきらめ、止めてしまう人もいます。もったいないことです。

そして、最後には、なぜか、競った時には、「努力する人」が勝利するものです。

しかしながら、「努力する人」も、それを「楽しみとすること」にはかないません。努力をしているけれど、嫌々ながら続けている人と、将来の目標に向けて、苦痛ではなく、自分の意志で楽しみになっている人とは、最後の伸びが違うようです。

楽しいとは、ふざけるとか、さぼる、楽をするという意味ではありません。今、自分がやっている「勉強」「部活動」「ボランティア」など、自分で決めたことに信念を持って『継続していく』ことです。

始業式の中で、夢や目標を持つことについて話をしました。自分の将来に向けた夢を描くとともに、そこに向かって細かな、実践目標を立て、実行することが大切です。3年生と、校長面談を進める中で、海外で暮らしたい、看護師になりたい等、明確な夢を語ってくれる人がいました。これから見つけていくという人も多くいます。中学生にとって、夢への第一歩は、「学習」だと思います。その中でも、授業への取り組みが重要です。静かに臨む、忘れ物をしない、話をしない等、当たり前のことを当たり前続けていくことです。

始めることは誰にでもできます。やめてしまうことも簡単です。でも、続けることは大変なことです。